

花王の使命とR&D活動

消費者と顧客の立場にたった“よきモノづくり”で、
世界の人々の豊かな生活文化の実現と、社会のサステナビリティに貢献します

"よきモノづくり"に
込める思い

安全・安心・信頼

高品質・高機能
高付加価値の提供

社会的課題の
解決への貢献

花王R&Dの源流

優良廉価の生活必需品

130年にわたる花王の“よきモノづくり”は、1890年「花王石鹸」から始まりました。創業者・長瀬の理想は石鹸を贅沢品



から日々の暮らしに欠かせない生活必需品にすることでした。また、長瀬は生活必需品だからこそ、最良の品質でなければいけないと考えていました。

創業者 長瀬 富郎



研究開発を経営の軸に

花王は研究開発を重視し、これを経営の軸にすえています。5代目社長・丸田芳郎は「叡智を集め真理に迫る」ため、研究所内で



異分野の研究員が一堂に集る「大部屋方式」を取り入れ、革新的技術のさらなる創造をめざしました。知がダイナミックに交わる、自由闊達な組織風土は、いまでも脈々と受け継がれています。

5代目(在任期間/1971~1990年)取締役社長 丸田 芳郎

丸田芳郎の経営哲学

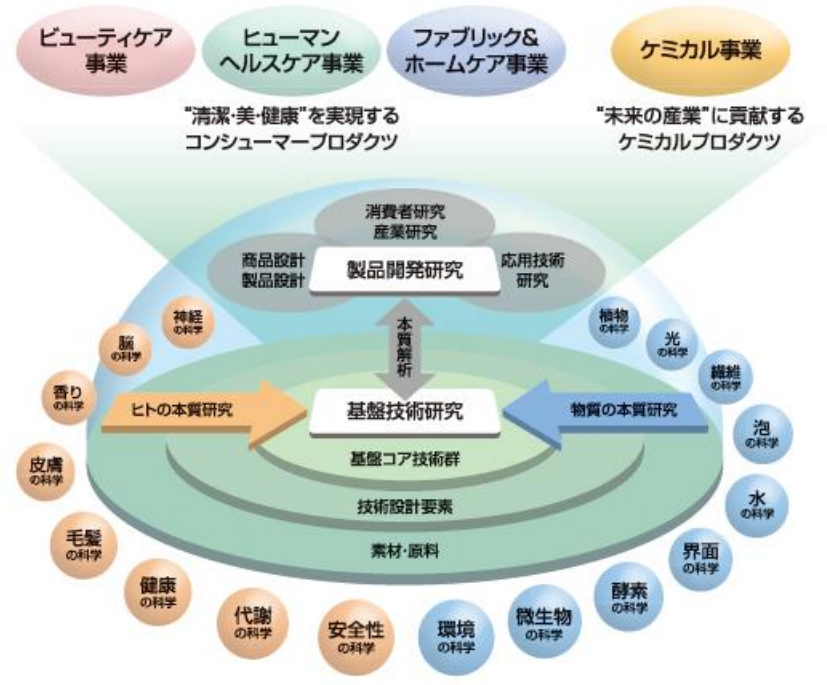
1. 消費者への奉仕の精神
2. 人間の絶対平等観
3. 真理の追究と叡智の結集

花王の使命とR&D活動

4つの事業セグメント

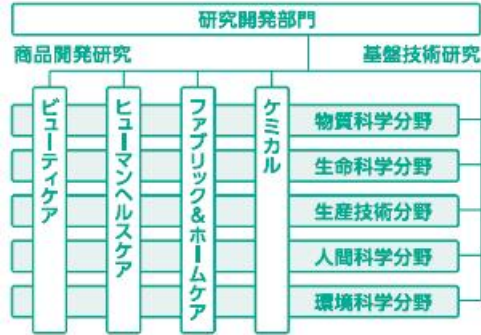


花王の価値提案を支える多様な研究領域



花王の使命とR&D活動

マトリックス運営によるR&D活動



「大部屋方式」を取り入れた研究室

グローバルに広がる花王のR&D拠点

花王グループ研究開発費 546 億円 (2016年)

